Windows 8のタッチ操作

*Windows 8は、指で操作できる「タッチ操作」に対応しています。スマートフォンをお使いの方にはおなじみの操作ですが、Windows 8ではじめてタッチ操作を体験する方も多いと思いますので、ここでは、最初に覚えておきたい、4つのタッチ操作を紹介します。*



**●タップ**

指を画面に当てて、すぐに離す操作です。マウス操作のクリックに相当します。メニューを選択したり、ボタンを押したりするときに利用します。

**●スワイプ**

指を対象に当てて、そのままスッと動かす操作です。動かした後は、指を画面から離してもかまいません。メニューを表示したり、画面を上下左右に動かしたりするとき利用することの多い操作です。

**●ドラッグ（スライド）**

指を対象に当てて、そのまま目的の場所まで指を動かします。最後まで画面から指を離さないのがスワイプとの違いです。マウス操作のドラッグに相当します。何かを別の場所に動かしたいとき、よく利用する操作です。

**●長押し**

指を対象に当てて、そのままにする操作です。マウス操作の右クリックに相当します。右クリックメニューを表示したときなどに利用します。